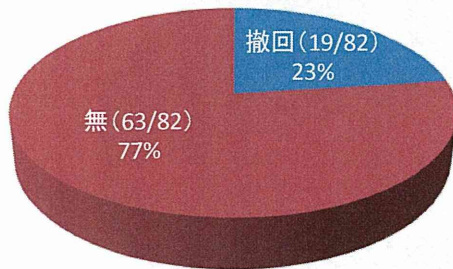
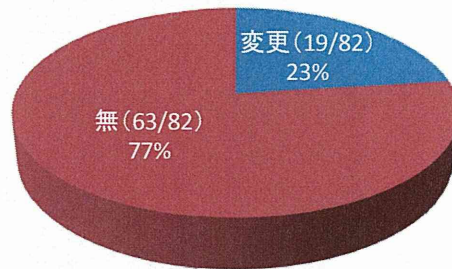




3) 下痢警告後に抗生物質の撤回または変更の経験



撤回

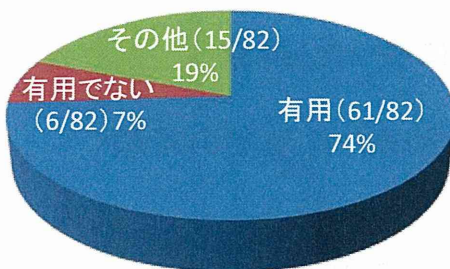


抗生剤変更

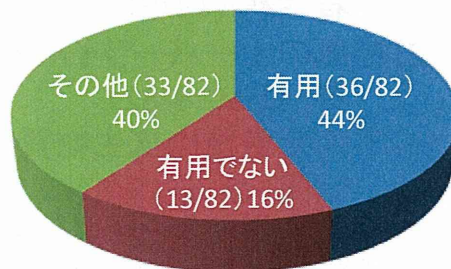
HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



4) 意思決定支援の有用性 (推奨投与量、下痢アラート)



腎機能

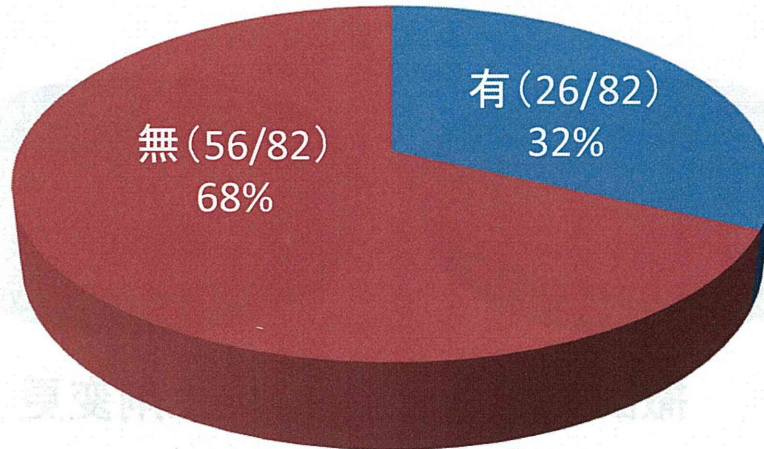


下痢アラート

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



5) スタッフ間で 推進コミュニケーションの経験



HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



結果(まとめ)

- アンケート回答率: 49%
- 1) 医師オーダーとシステム推奨の投与量の不一致経験
有: 54% (44/82)
- 2) 推薦のオーバーライド(推奨に従った)経験
有: 41% (34/82)
- 3) 下痢警告後に抗生物質の撤回または変更の経験
撤回: 23% (19/82)
抗生剤変更: 23% (19/82)
- 4) 推奨投与量or下痢アラートの意思決定支援の有用性
腎機能 有用: 74% (61/82)
下痢アラート 有用: 44% (36/82)
- 5) スタッフ間で推進コミュニケーションの経験
有: 32% (26/82)

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



結語

- IIMS(島根県立中央病院統合情報システム)に、2つの**臨床決断支援ツール**を作成した
 - 腎機能による薬剤推奨投与
 - 抗菌薬使用時の下痢アラートシステム
- 2つのツールは、医療従事者に**受け入れられ**、コミュニケーションツールとしても**有用**であった

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



平成26-27年度厚生労働科学研究費補助金
地域医療基盤開発推進研究事業

安全な薬物治療を促進する多職種間 情報共有システムの開発に関する研究

医師を対象とした横断調査によるシステム評価

東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科

湯坐有希



HYOGO COLLEGE OF MEDICINE

多摩メディカルキャンパス

都立施設が一つの敷地内にあり、有機的に連携し医療を実践

JR武蔵野線
 JR中央線
 中央道
 JR南武線
 国立・府中IC

多摩総合医療センター（成人医療）
 地域がん連携拠点病院
 789床

神経病院
 304床

府中療育センター
 260床

がん検診センター
 府中看護専門学校
 ドナルド・マクドナルド・ハウス ふちゅう

武蔵台学園（特別支援学校）

小児総合医療センター
 559床

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE

当センター*の特徴

- 小児の総合医療基盤
 - 医師322名、診療科37科、職員数約1,100名
- 子ども・家族支援部門
 - リエゾンチームが能動的に病棟を回診
- 施設・設備
 - 559床：うち児童精神科病棟200床、PICU10床、HCU12床、NICU24床、GCU48床

* 2010年3月に都立清瀬小児、八王子小児、梅ヶ丘の3病院が統合

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



目的・方法

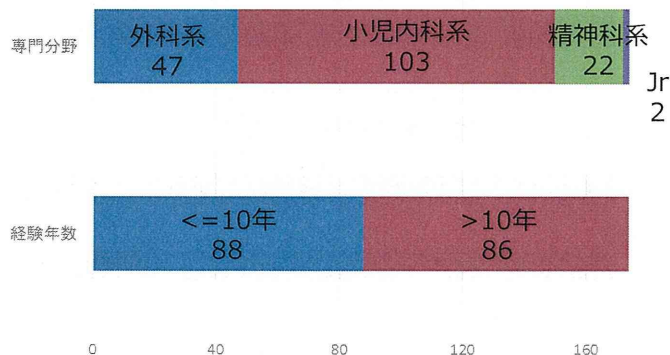
- 小児病院勤務医師に対して、電子カルテ、特にアラート表示についてアンケート調査を行った。
- 当センターでは富士通製HOPE EGMAIN-GXが開院以来採用されている。
 - それ以前は紙カルテであった。
- 対象は東京都立小児総合医療センターに平成27年12月1日時点で勤務している322名（非常勤医師を含む）を対象とした。

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE

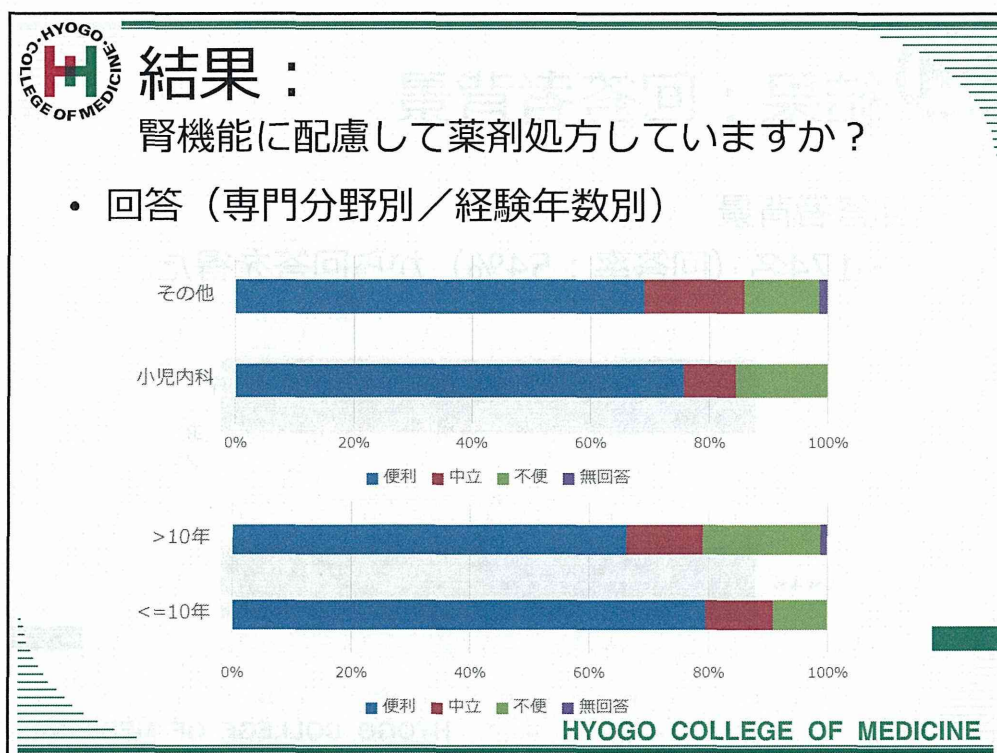
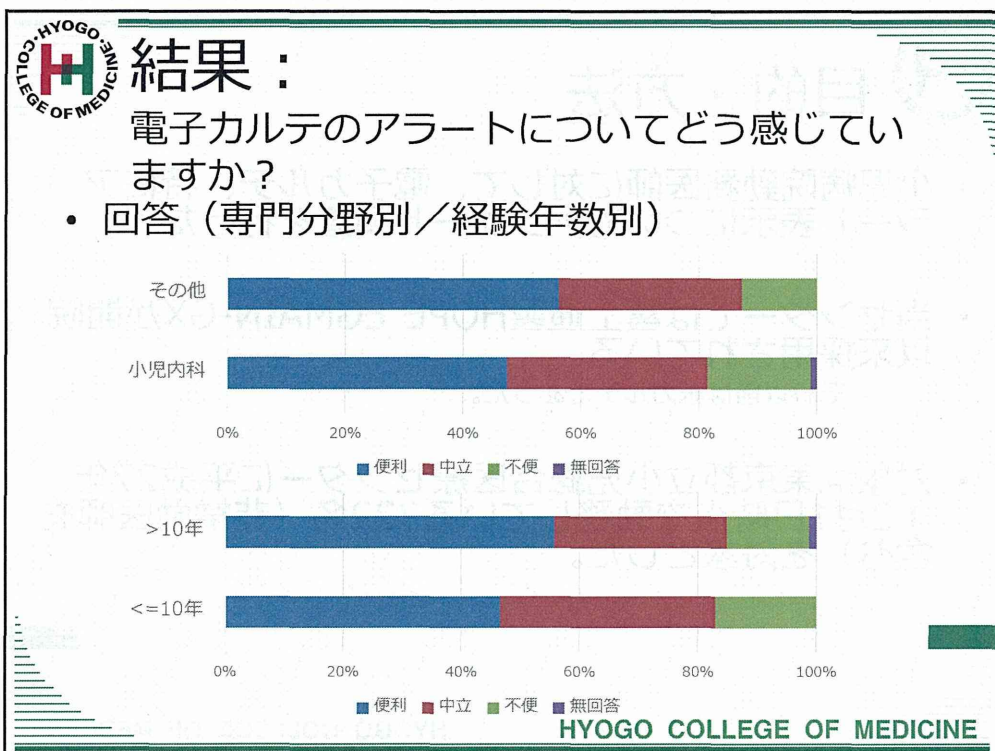


結果：回答者背景

- 回答者背景
 - 174名（回答率：54%）から回答を得た。



HYOGO COLLEGE OF MEDICINE

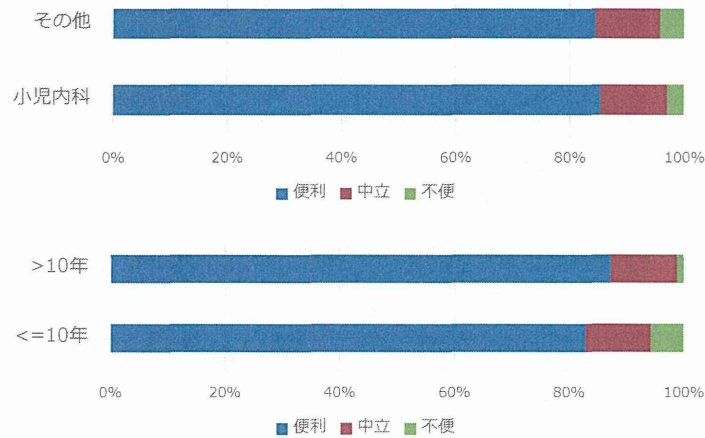




結果：

腎機能に応じた推奨投与量提示機能は便利ですか？

- 回答（専門分野別／経験年数別）



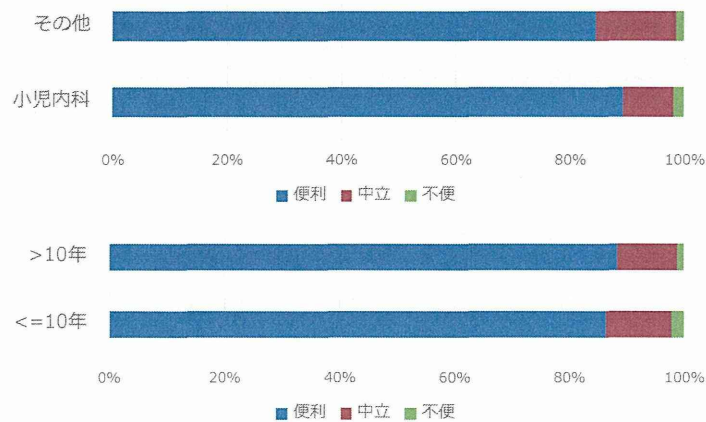
HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



結果：

体重に応じた推奨投与量提示機能は便利ですか？

- 回答（専門分野別／経験年数別）

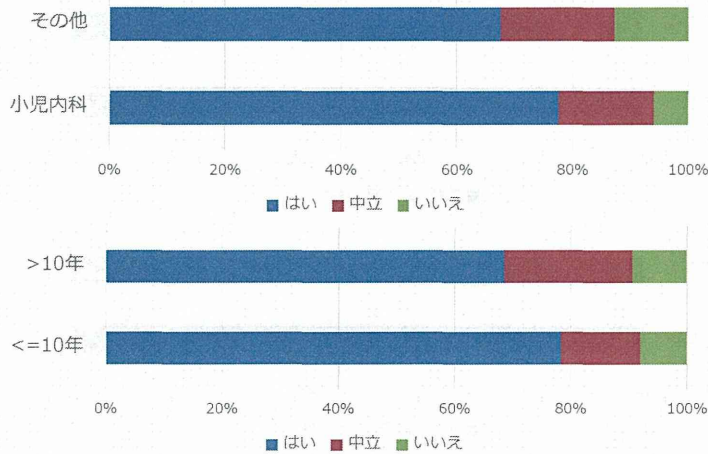


HYOGO COLLEGE OF MEDICINE

結果：

抗生物質投与中の下痢発症は意識していますか？

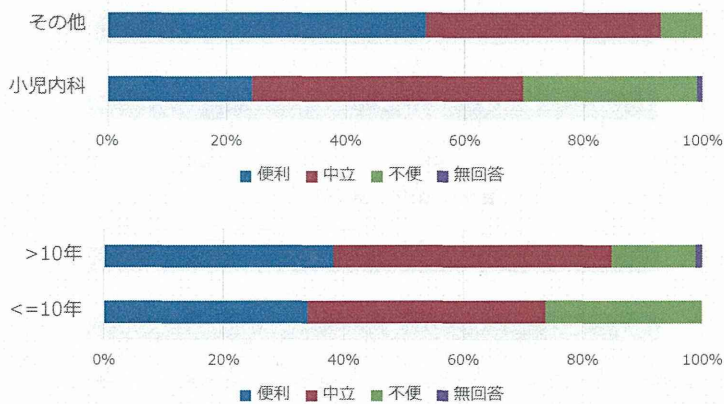
- 回答（専門分野別／経験年数別）



結果：

抗生物質投与中の下痢発症を知らせる機能は有用ですか？

- 回答（専門分野別／経験年数別）





結果：

電子カルテのアラートシステムについて（自由意見）

- Pros（約40%）
 - インシデント・アクシデントを未然に防ぐことができる。
- Cons（約60%）
 - アラートが多すぎて、麻痺してしまっている。
 - 実診療とアラートが出る状況（薬剤投与量など）に差がある。

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



結果：

電子カルテのコミュニケーションシステムについて（自由意見）

- Pros
 - ・ 搭載されている掲示板機能が有用。
 - ・ 通称「クジラ」という相手を指定したメッセージ機能が有用。
 - Cons
 - ・ 電子カルテはコミュニケーションツールではない。
 - ・ Face to Faceが重要では。
 - ・ 現在搭載されているコミュニケーションシステムが不完全なため、洗練されたシステムのイメージがわからないためと考える。
- ・ 掲示板機能、「クジラ」が使いづらい、改良を。

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



結果：

電子カルテに今後求める機能（特に処方に関連して）（自由意見）

- 禁忌やアレルギーなどのアラートをより見やすく。
- 併用禁忌アラート。
- 小児適応のあるなし表示。
- 体重による処方量表示。
- 前回処方量と違う場合のアラート。
- 処方切れアラート。
- 薬剤量と成分量表示。
- 過剰なアラートの整理。

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE



考察：

- 当センター勤務医師の約半数から回答を得た。
- 全般として小児診療を行っている医師のため、薬剤処方に対する腎機能や体重による処方量決定について強い関心があり、電子カルテによるサポートを期待していることが判った。
- 他方、現行の電子カルテシステムに備わっているアラート機能が、実臨床に合致していないという側面に関し、半数以上の医師が強いストレスを抱えていることも判明した。

HYOGO COLLEGE OF MEDICINE